

## Coffee Break



若手の支援も続けるなど、活躍の場は実に幅広い。

★作陶50周年

市野弘之作品集出版  
丹波焼の世界的な作家、

市野弘之さん(70)が、古稀を迎えて作陶50周年の作品集『陶』を、神戸新聞出版センター(2万円)から出版。

★佐藤廉さんが「神戸市文化活動功労賞」を受賞  
若木屋美術店元町画廊の佐藤廉さん(71)の長年に渡る新人发掘・育成の功績に対し受賞が決まり、「'93神戸文化のつどい」(9月28日神戸文化ホール)で、他受賞者と共に贈呈が行なわれた。



佐藤 廉さん

市野 弘之さん(70)  
10月10日、ホテルニューオータニにおいて出版記念会を開いた。

市野 弘之さん

市野さんは作品集中で「土と火と己の魂を燃やしつづけ、仕事一途に明日の自分を求めつづける日々の中に、古稀となり半世紀を迎えることになった。

日本の民芸運動の始祖柳宗悦先生との出会いが私の進むべき道を決め、800年の歴史を持つ丹波焼の窯元に生をうけたお陰で、丹波焼の美を発掘し、こよなく丹波焼を愛された柳先生や、色々な人との出会いが心の励みとなり、教えられつつ一途に打ち込んだ50年だった。21世紀へ向って確かに歩みを続ける丹波焼の一翼を担つて、更に精進を重ねてゆきたい」と河井寛次郎、浜田庄司ら先輩達の言葉が光る。

「作品は人間性の表現。私はずっと、作家を後ろから見続けてきました」と語る。河野通紀、松本宏、現代作家の「7/7/7展」(元永定正、白髪一雄、河口龍夫、植松奎二、丸木耕、山口牧生、斎藤智)等企画展の開催などを通し、多くの作家を育ててきた。

「具象人間五人展」(中西勝、西村功、故・鴨居玲、佐藤廉さん(71)の長年に渡る新人发掘・育成の功績に対し受賞が決まり、「'93神戸文化のつどい」(9月28日神戸文化ホール)で、他受賞者と共に贈呈が行なわれた。

★権炳佑女史の偉業をたたえて  
「一年を取つてだんだん若く美しくなるのが不思議!」

会を開いた。

日本韓国婦人会中央本部会長の権炳佑女史のチヨゴリ姿は麗しく、退任慰労のパ

ンタード(2万円)から出版。

神戸オリエンタルホテルに約400人が集つた。

当夜は、権女史の会長時

代の功績をたたえて退任を惜しむ韓国本國からの政、財界の大物や、兵庫県副知事、神戸市長代理など日韓両国の方々の感謝状やスピーチがよせられた。



権炳佑女史

兵庫県日韓親善協会も、韓日親善協会ソウル特別市聯合会との姉妹提携協縁の貢献に対し上田将雄会長から感謝状と記念品を贈られた。「在日韓国婦人会中央本部会長の大役を無事に終えて大変嬉しい。これも皆様のご支援のおかげです」



出江 寛さん

「残念ながら、現代建築は、歴史的にみても決して成功しているとは言い切れず、それが昨今の私達建築家の切実な苦立ちと悩みでもある」と、大会実行委員長の出江寛さん。

「神戸も含め、現代の都市づくりは経済性、合理性が前に出てきているのではないか。美しさや潤い、伝統の持つ情緒性に富み、例えば、画家が描いてみたいと思う様なまことにっているだろうか。神戸はハイカラさを背景に持った、近畿一円でも異色の存在。新しい都市づくりもその魅力、また古いものに変にとらわれるることのないといつた個性をうまく生かし、そして、伝統から来る情緒を大切に展開をさせてほしいと思います。

そして「伝統」が21世紀のキーワードとなるのではないだろうか」と語る。

★JIA(社)新日本建築家協会'93年神戸大会開かれ  
る  
9月16日~18日の3日間開催される  
歴史都市京都・奈良を控え、  
戸国際会議場を主会場とし  
て開催された。今大会のテ  
ーマは「伝統と現代建築」。  
10月30日、神戸文化ホー  
ルで2年ぶりのソプラノリ  
サイタルを行なう水澤節子

そして現代的都市経営が最も進んでいるとされる神戸を開催地に選び、新ためて日本の伝統と現代建築の関わり合いについて考えようとの主旨で、種々のブログラムが展開された。



★KOB E オフィスレディ★

北野 尚子さん (25)

〈広報宣伝部勤務〉

ワールドの広報宣伝部で活躍の北野さん。小説10月号では新しくオープンしたショッピングモール「オゾック」の撮影に立ち合って頂きました。入社4年目、社外広報担当で、マスコミに対応。「社内、社外を問わず、いろんな人に会えるのが楽しいですね」と北野さん。今年の夏にはイタリアへ旅行、イタリアに魅せられて、最近イタリア語を習い始めたとのこと。気さくで、笑顔のとても素敵な女性です。

「これだとと思いましたね。それがきっかけで日本人の心の機微を歌い、肌で感じて共感できるオペラを創つていきたいと思うようになりました」

今回のリサイタルの見どころ

などと歌つきました。けれどこの世の中にある膨大な数の音楽の中で、私が出会ったときのものは何なのだろうと考えました」その頃出会ったのが一人オペラの「信田妻(しのだづま)」。狐の恩返しといったストーリーを能の立ち居振る舞いを基本とした演出で歌い、演じた。

「医学のために動物実験は必要だと思つてゐる人にも実験の廃止を求める会の兵庫県内の会員が中心となつて発足。動物実験の実情を訴える写真展の開催、自治体から研究機関への実験動物の払い下げ中止を求める運動を始めたのです。私たちが知らんふりしてたら、1秒に3匹の割合で罪のない動物が殺されていくんです。どういう実験が行なわれているのかもっと公開してほしいと思います」と駒井さん。

世界的には、様々な規制がある「動物実験」であるが、日本は野放し状態であるという。今後我々が真剣に取り組まねばならない重いテーマである。

## ■連絡先

神戸市北区有野台5-3-57-202

078-2011-202

宮本方

202



故・山口 光朔さん

山口光朔さん逝去  
前神戸女学院大学学長  
人権・平和運動家として  
幅広い活躍で知られる前神  
中央市民病院で死去。66歳。  
22日、神戸市中央区下山手

朔さんが、8月20日夕刻、腎臓がんのため、神戸市立女学院大学学長の山口光朔さんと、Y.M.C.A理事、オリビア幼稚園園長等を務めていた。米国ロッカフォード大学名誉博士、中国広州外国语学院顧問教授、インドネシアブンハッタ大学名誉教授。

10月8日午後2時30分より神戸女学院講堂にて、追悼記念式が執り行われる。式委員長は小玉佐智子神戸女学院大学学長。



水澤 節子さん

運動、マイドックトレーニングスクール(愛犬にとつてよい飼い主になる為の学校)の開講などの活動を続いている。

通の聖ミカエル大聖堂にて告別式が執り行われた。喪主は長男元(はじめ)さん。専攻は日本近・現代史だったが、文明論にも造詣が深く、英國の歴史家アーノルド・トインビーの紹介者としても知られる。広島での被爆体験を持ち、永年キリスト教の平和運動に関わり、精力的な活動をしてきた。FM大阪でのD・Jの経験もあった。毎年末、神戸で開催の人権展「やさしいから人なんですか展」の実行委員長、世界平和をアピールするスペインの「ベン・ポスター子どもサークス」の関西公演実行委員長としても活躍。今年ようやく公演が実現したが、神戸公演初日前日の死去、初日舞台で長男元さんにより追悼の祈りが捧げられた。

△その167

関西文化学術研究都市

## 国際高等研に茶室贈られる

地域文化論

米花 稔（神戸大学名誉教授・福山大学教授）

久しぶりに天候に恵まれた晩夏八月三〇日、関西文化学術研究所都

市の中核として、奈良に近い京都府南部の木津川台（相楽郡木津町）の完成間近かの助国際高等研究所に、裏千家千完室家元より茶室を寄贈せられ、宗室 登三子御夫妻出席のもと五〇余名参加で竣工による贈呈式と披露が行なわれた。

理事長奥田東氏に宗室氏から目録贈呈と共に、「お茶室が、研究に没頭される皆様方のやすらぎの場となり、また日本文化の一端に触れ、そして人類の未来と幸福の為の研究の思索の場としてお役に立てれば」との家元の挨拶があつた。続いて茶室前で家元御夫妻、奥田理事長、岡本道雄研究所長らによつて、雅松庵という額の除幕式が行なわれた。学者村を意図して和風にみえる二階建の地味な建物のつらなる中庭に、渋さと華をそえる趣きある茶室である。なお研究所の竣工披露はすこしおくれて一〇月一日、本号発行時には開かれ、その際「東の心、西の心」をテーマの東西の著名学者による

記念講演が、研究所の理念の一部を示していると思う。

この研究所は組織としては既に昭和五九年八月設立で京都に仮事務所をおき、研究所の企画運営、研究会シンポジウムなどソフトを先行、九年でハードを実現した。

関西文化学術研究都市は、二一世紀を展望した文化学術研究機能の新たな展開の拠点として、京阪奈丘陵に産・学・官の協力で建設を進めており、そのきっかけは昭和五〇年代はじめ元京大総長奥田東氏の発想に由来する。詳論の余裕はないが、

良平画伯えがく裏千家家元登三子夫人の肖像である。  
微としての茶室である。  
茶室での順次の挙服で、小生の  
参加した折の一〇数名、すべてお  
茶の心得があるとは限らない筈  
が、いずれも懐紙を用意して前に  
おきお菓子をいただく様はさすが  
であった。小生も身内に手ほどき  
の俄仕込ではあった。ひとしきり  
の静寂が心をひきしめた。

東のつくば研究学園都市とはひと味ちがうこの関西文化学術研究都市を中心、同じく進行中の播磨科学公園都市などをふくむ近畿リサーチ・コンプレックスとして今後大いに国際貢献のすすめられることを期待したい。

ちなみに本号の表紙は、故小磯良平画伯えがく裏千家家元登三子夫人の肖像である。



一足先に完成、披露された「雅松庵」

# ワキガ「多汗症」は 簡単に治せる!



あなたの耳アカは、乾いていますか？

◆耳アカの湿っている人の90%がワキガといわれています◆

最近、メスを使わないワキガの治療をする病院が増えていますが、例えるなら真っ暗な部屋を手探りで掃除機をかけるようなものです。この方法は取り残しの可能性があるため再発する方が多いのが事実です。

当院で行なっている「皮下組



ワキガの4大原因は  
\*アボクリン腺  
\*エクリン腺  
\*皮脂腺  
でーす。



小国クリニック院長  
小国英昭

織剥離法」なら直接目で見て汗腺をひとつひとつ取り除きますので、再発の心配がありません。止血も十分に行なうことができるので、腫れを最小限におさえられます。

小国クリニックは、一生に一度の手術で確実に治すことを目指的としています。

◆直接院長迄お手紙を下されば、貴女の御相談にお答えします。（プライバシー厳守のため個人名で後日返送）◆相談は一切無料です。◆ご来院の場合は事前に電話予約をお願いします。

## 診療科目

- 目…………二重まぶた(埋没法・切開法)/目尻/目頭切開
- 鼻…………隆鼻/低鼻/小鼻縮小/鼻尖形成
- 頭の輪郭…エラ削り/あご/こめかみ/額
- 脂肪吸引…顔全体から足首にいたるまで(二重あごなど)
- 腿…………豊胸/乳房縮小/陰莖乳頭/乳頭縮小/バストアップ
- シワ取り…顔全体/首/腰/その他
- その他…ピアス/傷跡/ TATTOO /ホクロ/婦人科/泌尿器科/ワキガ(ワキガ医学研究所併設)

美容外科・泌尿器科・形成外科

オグニ

医療  
法人

# 小国クリニック

■大阪本院  
大阪市北区堂山町17-15  
若原ビル4F 〒530  
☎06-365-0123  
J R大阪駅、阪急梅田駅より徒歩5分。  
ナビオ阪急、東へ徒歩2分。

■姫路カウンセリングルーム  
姫路市南駅前町91 森田ビル2F  
☎0792-84-4060 〒670  
J R姫路駅南出口喫茶すみれ2F  
※当相談室では、診察などの医療行為は一切行っておりません。

■日本美容外科学会正会員 ■日本医師会  
会正会員 ■大阪府医師会正会員 ■北区医師会  
会正会員 ■昭和大学麻酔科研究員  
医師会員

## ■座談会

FASHION

●特集——1

'96年に向つて六甲アイランドに  
神戸ファッショングンセンター完成

# 神戸ファッショングンミュージアムを創る

藤本 晴美

照明デザイナー・プロデューサー

繁

インテリアデザイナー

内藤 田中 好栄

橋代

インテリアデザイナー  
ファッショングンセンター

建設準備室学芸主任

司会 平成8年の春、六甲アイランドに“ファッショングン都市神戸”を宣言した神戸のシンボルとも言える“神戸ファッショングンセンター”が開館され、平成5年度はその建設着工のときです。その主な施設の中で神戸ファッショングンミュージアムはその中枢をなす文化的なゾーンとして私たち神戸市民が注目するところですが、本日はその建設に携わっていらっしゃる皆様にミュージアムの新しいコンセプトとイメージ、また空間構成などについてお話をいただきたいと思います。

★素晴らしいチームワークで世界初のミュージアムを  
三好 とにかくこのファッショングンミュージアムは、世界中のどこにもない新しいものを目指していますので、美術館のようにただ単にいいものがあるだけでなく、空間、

インテリア、照明、映像の全てをトータルに構成して、新しい素敵なものを作ろうと思い、従来の美術館や博物館のコンセプトをそのまま持ってきたのではなくおもしろくないので、誰かに助けてもらいたいと思い、今回プロデューサーを務めて下さっている藤本さんのところへ大挙押しかけました。そこから凄いスピードで、設計チーム、学芸員、事務職が三位一体となつていいチームワークを築くことができ、今日に至っています。

藤本 私はいつも、人間関係がものを創るとはどういうことかという点で仕事をしています。今回の件に関しては、準備室のメンバー全員が、いいものは何か、新しいものは何か、すばらしいものは何か、美しいものは何かについて同じ熱意を持っていて、どうしてもそういうものを創りたいという熱意に押し倒されたんです。そして



素晴らしいチームワークのファッションセンター建設準備室の皆さん

その引き受ける条件として、準備室全員が関わって、参加して一緒に創ることと、空間デザインは内田繁さん以外考えられないということと、今度は内田さんのところへ押しかけ、内田さんも快諾し、更にこのミュージアムとして重要なポイントの展示デザイナーに三橋いく代さんが参加するという具合に「この人じゃないとできない」という直感がそれぞれにあって、そして今回ベスト・メンバーで思い通りのチームワークで仕事をすることになりました。

**内田** この計画は始めてまだ一年ちょっとなんんですけどもう3年位になる気がするんです。それだけ関わっていたというか、集中して充実してたんだでしょうね。今回の件に関しては、プロデュースというのがいかに重要かということがよくわかりました。ほんとうに事務方も含めてクリエイティブに関ってくれて、全員が「創っている」という実感があるんですね。僕達の仕事は、それを上手にまとめるというか、横にそれなりのように導いていくことでもある訳です。

**三橋** 今しみじみと今回のこととは適材適所なんだなと感じています。俗に「お役所仕事」という言葉がありますけれど、それが死語になるくらい、いいイメージの出会いでしたね。短い時間の中でも、不思議なくらい各自の足並みが揃ってるんですね。デザインというのは型を作ったり、色を決めたり、素材を選んだりすることだけではなく、「人を創るんだ」という型ができるんですね。担当が誰だからとか、誰がやったんだとかいうことではなく、そういうものを超越して、ほんとうに皆で関わって素晴らしいミュージアムを創ろうとしているんです。

**藤本** 最初に約束した「皆で一緒に創ろう」という条件を見事にやりとげているんです。時間があるからといつていいものができる訳ではなく、時間も予算も決まっていて、皆で確実に各々が責任を持って、ひとつも遅れることなく素晴らしいスピードのチームワークで仕事



藤本 晴美 照明デザイナー＆プロデューサー。1963～1967年、パリの美術学校、イタリアの映画学校を経て、1968年照明設計事務所MGSを設立。照明シーンを常にリードするとともに、照明、インテリア、音響、映像をトータルにプロデュース。

が進んでいます。ですから時間的には地獄ですが、おもしろくて仕方ない、早く完成させたいなというのが今の気持ですね。

三好 僕は学芸員として設計チームと事務方の中間にいる立場なんで、どちらも客観的に見ることができるんですが、設計チームの藤本さん、内田さん、三橋さんは各自に照明デザイン、インテリアデザインの草分け的存在で、名を成した方々で、その三人が「これは藤本晴美の仕事なんだ」「内田繁の仕事なんだ」「三橋いく代の仕事なんだ」ということを全体のコンセンサスの中で、決して妥協することなく、一步一步進めてくれているというのが素晴らしいことだと思っています。一方、事務方も、設計チームや学芸員のソフトに対する考え方や空間に対する考え方を受けて、どうしたら最短距離でこのことが実現できるかということに全力で取組んでくれてるんです。皆が、誰ひとり突出することなく全体をつかんで、いい結果が生まれていると思います。

藤本 神戸は各々の個性がありながら、全体としてハーモニーの上手な街ですよね。このファッショニミュージアムも、準備室の全員が、どんなデザインになるのか、どんな照明になるのかを細部まで説明できるんです。このハーモニーというかチームワークは自慢の種ですね。ですから、さぞ美しい、さぞ楽しい、さぞ皆さんが望んだ、神戸が自慢できるミュージアムになると確信しています。そして物作りの一一番重要なことだと私が思ってい

★五感で感じられる空間が出来上がります

三好 先ず、空間構成についてお話ししますと、空間創りが今回難しいと思ったのは、完全に遮断された自然光が入ってこない平べったいだけの常設展示室は、建築上、ドームを上部にのせた構成なので、柱が20数本もあり、何とかこの柱の問題を解決しなければならなかつたことなんです。かといって、壁で遮へいするのではなく何か⋮と思っていたんですが、内田さんを作つて頂いた模型を見ると、完全に壁で区切られた空間がそこにあつたんですね。

内田 皆さんの要望を入れるとこんな風になりますよという模型を作つたんですが、思つていたのと違つていたらしく、皆さんその模型を見て驚いていたようですね。「かまわぬから壊して下さい」と言つたんです。

三好 内田さんの仕事の中で、かつてこんな無礼なことがあつただろうかと思うくらい無礼にも、作つて頂いた模型の壁をベリベリとはしまつたんです。まるで料理でもするかのように⋯⋯。そしたら不細工なものになつてしまつて、その結果、元の空間がいかに美しいも

内田 繁 インテリアデザイナー。1966年桑沢デザイン研究所卒業。1970年内田デザイン事務所設立。1981年㈱スタジオ80設立。1987年毎日デザイン賞受賞。美術館収蔵作品として「セブテンバー」(メトロリタン美術館・1988)家具やショップのデザインからデビングプロジェクトのプロデューサーまで、多彩に活躍中。



のであったかに気づいたんです。それで、壁で完全に仕切るのではなく、空間の広がりを残しつつ、柱を隠しつつ、いろんな展示を区切るという最高の空間プランを新たに内田さんに創って頂いたんです。そして、実際に藤本さんに照明を当てて頂いて見ると、柱があるにもかかわらず柱が目立たず、壁があるにもかかわらず空間の遮へ感のない空間ができあがったんです。

内田 ここ数年に出来た美術館は、博覧会の延長のようなもののが多かったんです。つまり、物を展示できればいい、知識を入れられればいいといったものですね。ですから五感に訴えかけるような感覚的な空間構成というものがなされていなかったんです。これは博覧会以降の悪い現象なんですが…。これを絶対に作ってはいけないというのが皆で一致した意見だった訳です。美術館である以上、そういう要素も必要なんですが、そこにいるだけで穏やかになれるというか、落ち着いた気分になれる空間を創りたいというのがスタートでしたから、そのためには必ず柱の問題を解決しないといけなかつたんです。それには二通りの考え方がありまして、第一に柱を上手に隠してしまう方法、そして第二に柱をもっと増やして柱に見せないで回廊のようく見せる方法ですね。この点について事務方も含めて全員で意見を出し合って全員が納得して空間構成を完成させたんです。

藤本 内容については、昨日も皆で「見に来た人に何を見せたいのか」逆に自分自身が客として来た時に、「何

を見たいのか」ということについて話し合いをしたのですが、訪れた人が「いいなあ。何かとつてもきれいだなあ」と感じてもらえたことが記憶に残るような、そして口コミでもその美しさ、良さが大きく広がっていくような、そんな風に完成させたいなと思っています。ファッショニヨージアムを作った意味をそこで感じてもらえる様な：

内田 美術館の持っている役割というのは、市民の広場的なもの、知識を増大させるもの、ワクワクするようなアミューズメント性、そして空間そのもののたたずまいと幾つかあるんですが、今回はそれを一つずつ忠実にやつていこうと思っています。特に僕の仕事は空間を仕切る仕事ですから、これを間違うとたくさんの要素がバラバラになつて散漫になりますので気をつけています。そして、このファッショニヨージアムの天井は5メートルなんですが、柱や壁を上手に利用して、高く感じる5メートルにしようと思っています。自然光が入つてこない空間で一番失われるのは『さわやかさ』なんです。それを補うのが高さなんですね。とにかく、ファッショニヨージアムのない人でも「あそこに行くと何か気持良くなる」という空間を創つて、その後、ファッショニヨージアムを見て、感じ、楽し

くりとファッショニヨージアムを見て、感じ、楽し

三橋 いく代 インテリアデザイナー。1966年多摩美術大学卒業。1970年内田デザイン事務所設立参加。1977年三橋いく代アトリエ主宰。1984年㈱スタジオ80へ移籍。インテリアデザインのみならず舞台美術、住宅、プロダクトデザインなどを手がける。

三好 栄三 神戸市経済局ファッショセンタービル建設準備室学芸主任。1985年関西学院大学文学部博士過程終了。以後、関西学院大学講師等を経て、1992年KF建設準備室へ。KFCのミュージアムのソフトからミュージアムのコンセプト作りをすすめている元美学者。



んで頂ける要素のプラスに素敵な椅子を用意することになったんです。しかも、それは普通の椅子ではなくて、今世紀あるいは前世紀の世界の名作コレクションを100点ばかり集めて、館内にディスプレイ、実際に座つてもらうんです。デンマーク大使館からも何点か名作を寄附してもらえたことが決まりました。そういった椅子を見るだけではなく、座れるというのもファッショントークですかね。

**藤本** それと、訪れた人が気軽に館内で記念写真を撮れるようにしようという提案もしています。日本の美術館ではほとんど撮影禁止ですが、ストロボさえ使わなければ、どんどん撮つてほしいですね。自分の好きな椅子に座つて記念写真が撮れるなんていうのもお洒落でしょう。

**内田** とにかく今回は、見て触て…という風に五感で感じてもらえるものにしたいんです。  
**三好** それで、展示の方も徹底してオープン展示にしたんです。大事な古いものとか貴重なものとかは、普通カバーをかけるんですけど、ガラスの中に入れなくても大切にしないという訳ではなくて、オープンにして、訪れた方々とできるだけ多くの接点を持たせたいんですね。もちろん科学的な実証に基いてですが…。

**藤本** その多くの接点を演出する上で、展示デザインに関しては、数々の切り口でファッショントエイツクを手掛けて、展示デザインに密着されている三橋さんにお願いしたんですが、とても素晴らしいですよ。

**三橋** 先ず、素敵なお部屋を抜けて、ファッショントエイツン写真を展示するお洒落な空間ファッショントエイツンから続く最初の部屋が20世紀つまり現代のファッショントエイツンを展示します。現代から過去へ逆のぼっていくよう、次の部屋が19~18世紀のファッショントエイツン、そして民族衣装へと移っていきます。20世紀及び19~18世紀のファッショントエイツンは全て西洋のもので、民族衣装のところで少し東洋のものが入ってくるんですが、その西洋のものと

東洋のものの接点を、これもなかなか興味深いんですが、衣装ではなく、布という切り口で見せていただきます。

そして、ただ単に部屋から部屋へ年代を追つて展示する博物館のようではなく、大きく5つのブースがあるんです。次に部屋がちらちら見えていて、それぞれ違うものを展示する空間同士の関係とか、その空間と展示してある衣装の関係とかを大事にし、この衣装は、誰が、どの時代に、どんな風に、どんな気分で着たのかまで表現できるようにしたいと思っています。

**三好** 衣装の方もかなりの成績で集まつてきました。例えば、ロココの舞踏会の衣装とか、ナポレオンの戴冠式の衣装とか…。

**三橋** もちろんナポレオンが実際に着たものではないんですけど、ナポレオンが当時服を作らせていた工房がまだフランスに残っていて、そこで当時と同じ手法で、同じ素材を使って再現したもので、もう何百年か経つと本物になってしまふものなんです。私達は過去のものをかすんだ色で見てるんですけど、そういうものが出来た當時、どんなに色鮮やかで美しかったかを知ることができると、そういうものが今回神戸の財産としてコレクションに入れば、素晴らしいし、とても興味深いことになると思います。

**三好** それと嬉しい報告がありまして、偶然なんですが、ナポレオン時代のドレスを一点購入していただいたんですが、それが、ナポレオンの戴冠式の時の列席者の一人が実際に着用されたものらしいんです（未確認）。

**藤本** 現代の偉大な世紀のコレクションにしても、100年のファッショントエイツンの歴史が収集されていますが、ファッショントエイツンミュージアム自身がその歴史を背追つて次の時代へ残していくんですね。そして19世紀初頭の古い部類に属するものがナポレオンの時代のものなど、その考えているコレクションの仕方が、とても現代的で、歴史の博物館を創ろうとしたんじゃないという発想がはつきりして

いるんです。そういうも現を一番美しい見せ方で、どう

いう風に完成し、維持していくかが、神戸の財産として生きると思うんです。

**三好** これまで知識というものは、書物の中にじ込められた言葉中心のものだったんですが、このファッショニミュージアムは、見て分かる、触れて分かる、感じて分かるという非常にレベルの高いものになるという確信を持つています。

**内田** つまらないものというものは、出来た時が一番いいんですよ。でも、いいものは、だんだん良くなっていくんです。30年50年と年を重ねるほど風格がでて、どんど

ん好きになっていけるんです。

藤本 出来た時がそのまま生き続けるんですね。ですか

ら、先程も言つたように、このファッショニミュージアムは、さぞ美しい、さぞ楽しい、さぞ皆さんのが望んだ、

神戸が自慢できるものになると信じています。司会 最後に21世紀の神戸ファッショニ都市づくりへのアイデアなどがありましたら、お伺いしたいんですが。

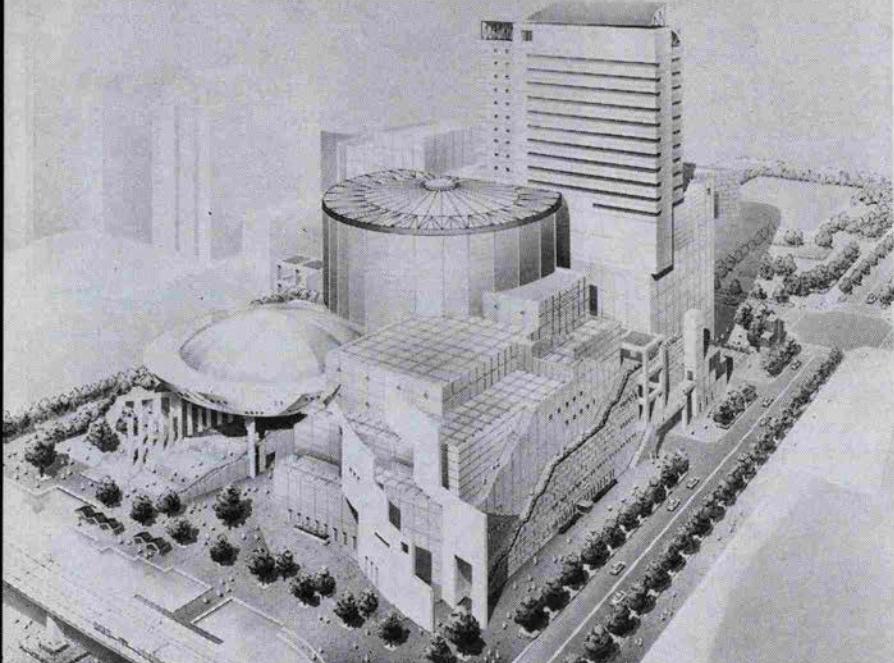
★繰り返し、蓄積し、本物のブームにしてほしい

**三好** 神戸はファッショニ関係のいいイベントをたくさん積み重ねてきて、ファッショニ都市神戸をイメージアップして、産業支援にもつながってきた訳ですが、その行なったイベントを文化的に蓄積していくところが十分でなかつたと思うんです。それをこのファッショニミュージアムで蓄積し、継続し、発展させ、そこから様々な能力や才能を育てていければと思います。先程内田さんがおっしゃつたように、どんどん年を重ねて良くなつていければと…。

**内田** 僕は都市というのは各々役割を持つていると思うんです。これからは地方分権の時代ですし、何を基盤においた都市なのかを考えないといけないと思います。それには常に繰り返し蓄積していくことが大事で、神戸はその可能性がある都市ですから、年間を通じてカレンダーが埋まるくらいファッショニイベントを積み重ねてほしいと思います。

**三橋** 日本人の特徴として、すぐにブームにはするんですが、今度こそほんとうに流行らせたいんです。本気で流行らせようと思えば必ず根ざしていきますから、繰り返して、蓄積していくってほしいと思います。

**司会** 素晴らしいファッショニミュージアムの完成を期待しています。



ファッショニミュージアム完成予想図（六甲アイランド）



Pierre Cardin  
Rain Coat/c. 1968  
© Takayuki Yasufuku

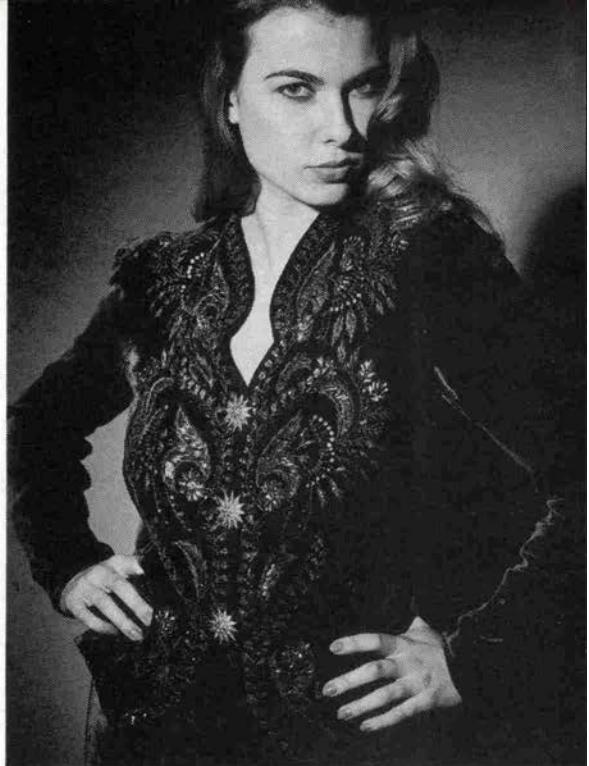
Grès  
Evening Dress/c. 1945~46  
© Yasuko Kotani



■ ミュージアム  
常設展／時代を彩ってきたファッショントンと空間が一体となつて創り上げる、美しく、そして運動する常設展。  
20世紀のコスチューム・18と19世紀のコスチューム・民族衣装・テキスタイル・写真と世界の椅子で構成する中央のスクエア空間・シミュレーションゲームプレイス・ハイビジョンシアターの七つのパーツから構成されたコスチューム・映像・空間が一体となつた場。

■ 企画展／ファッションから写真・映画・オブジェ・タブロー・インスタレーション・パフォーマンス。時間空間

イベントホール  
ファッションショー・音楽・映画・演劇・パフォーマンスなど時代の先端文化に触れるフレキシブルな劇場。  
デザインラボ  
ファッションに関するさまざまな情報から創造空間へ。  
ミュージアム常設展示内容  
● ファッションの偉大な歴史／20世紀のデザイナーのコスチュームとスライドによる環境映像が織りなす空間。西洋ファッションの世界／絵画がモデルとなつて構成



Elsa Schiaparelli Dinner Suit/c. 1937  
© Takayuki Yasufuku

これが  
ファッション  
ミュージアムだ



Gabrielle Chanel Evening Dress/c. 1927

© Takayuki Yasufuku



さられる18～19世紀のコスチュームゲームとクラシック・モダン空間。●ファッショングームと世界のテキスタイルと日本の衣装が繰り広げるテキスタイルゾーン。●民族衣装／世界の民族衣装によって構成される華やかな儀礼シーン。●アーティズム・スクエア／世界の椅子とフォトショーン写真のある安らぎの静的空間から、マルチスライド映像を使った、現代を表現する動的空間へと変貌する時空間。●アミューズメント・ハウス／色彩・光と影によって演出されたシミュレーション・ゲーム空間。

●ハイビジョン・シアター／動画を中心にイメージ展開



Pierre Cardin  
Day Dress/c. 1966  
©Takayuki Yasufuku

Gabrielle Chanel  
Evening Dress/c. 1927  
©Yasuko Kotani

## ■所在地

神戸市東灘区向洋町中2丁目

## ■構造

S造一部SRC造（地上7階）

## ■運営主体

第3セクター

## ■主な施設

ミュージアム、ライブラリー  
イベントホール（400席）  
デザインラボ、レストラン  
ミュージアムショップ



# 神戸ファッションストリート ——神戸のメーカーとここで出会える

ファッションの秋を迎きました。神戸の街には数多くの  
ファッションメーカーがありますが、今回は各社にアン  
ケートと形で、この秋のトレンドを聞いてみました。

## ——質問事項——

1. この秋冬はどんなファッションが主流だと思いますか。
2. 貴社のこの秋冬のテーマ。
3. 貴社の最近の売れ筋。(素材、形、色など)
4. 貴社の代表ブランド。(三つまで) 神戸市内でそのブランドが手に入る専門店名。
5. 4のブランドの服を着せてみたい著名人(女優など)の名前。



- ④ Vittorio Gallet  
te (ヴィットリオ ガレット)  
Vittorio Gallet  
亦が順調。  
衿フリル使いジャケット。  
色—ナチュラルベーシックカラー  
に加えて、立上りよりイエロー、

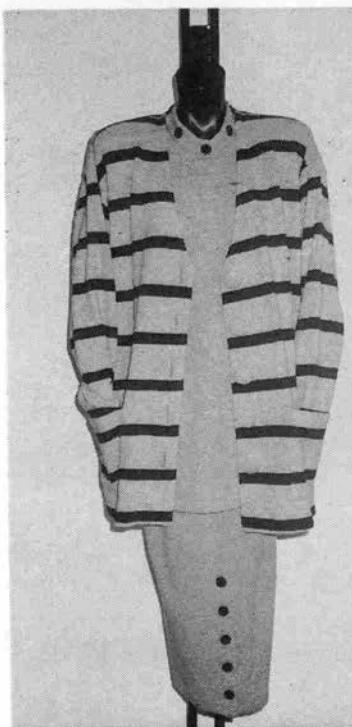
- ①組み合わせ自由な着やすいもの  
で、カジュアルティースを入れな  
がらも、女らしさを忘れてないも  
の。  
②comfortable(心地  
良さ)  
③・カシミヤJK  
・ニット類全般  
※色はグレー系、ベージュ系、  
黒。  
④・POTO FU  
• Free

- ★ボトフ㈱  
①ウェアリブ、ナタリーモーダ、  
アンティーケウォーリアス、ブ  
ッペ、コム・デモンなど。  
②comforatable(心地  
良さ)

## • Teana

- ①その女性が、より積極的に女性  
であることを表現するファッショ  
ン。(決して前衛的な表現ではな  
い)日本の古典的な女性像が見直  
される中、雅子紀殿下に代表され  
る、清楚で育ちの良い服。

- ②チャーミング&ロマンティッ  
ク。フリルやレース使いなど、ロ  
マンティックを表現しています。  
③秋の立上り用薄手ウールジョ  
ゼット。(イタリアの素材)  
形—チャイナドレス風ワンピース。  
衿フリル使いジャケット。





►モードリング

te本部SHOP(異人館俱楽部

Part II(2F)

⑤雅子紀殿下

★婦モードリング

①生活シーンの多様化等から单品指向は一層高まっている。全般的なカジュアル化傾向による单品を柱に、幅広く着回しできるコーディネートの変化が求められている。

また、エレガанс系では「ブリコン」から、シンプルで大人のティストのするセットアップが主流になる。

②・Autumn Harvest  
• My Favorite Things

③・森の新しい温もり

④・白衿タキシードカラー、リボンブローチ付、タイトスカートとのセットアップ。中肉のボリエスタイル100%。クロ、コーン、ベージュ

「シャツカラード、衿部分に葉っぱのアップリケ。ジーナデシンドークレー、ポリエステル100%、茶が

中心」「前身頃に金具使いのブラウス、バックサテンGC、ボリエスタイル100%」等

④・LEMONA—神戸紅屋、ウ

インクル、鈴屋ロブハウス

・YUKIE Y—マスヤ、装苑

・Picture—ワインクル、マスヤ、鈴屋ロブハウス

⑤安田成美、鈴木京香、鈴木杏樹

★婦モードオリオン

①ニットを中心としたカジュアルウェアの重ね着が主流で、着やすくなりラックスしたナチュラルなスタイル。

②ノースタルジック ホワイト"  
③・5ゲージアゼ編みジップアッピニットジャケット

・カラード、ベージュ、キャメルハーバーランドオーガスタプラザ

5FにSHOP展開

⑤高橋リナ



►モードオリオン

①着回し、着こなしができるファッショニ。シルエットではロングが増加。

②TRADITIONAL & ECOLOGY

③・ベスト—ウール100%、紺系、グリーン系

・ロングスカート、パンツ—テンセル。ブルー系。

・カーデイガン—レーヨン、ウール混。紺系、グリーン系。

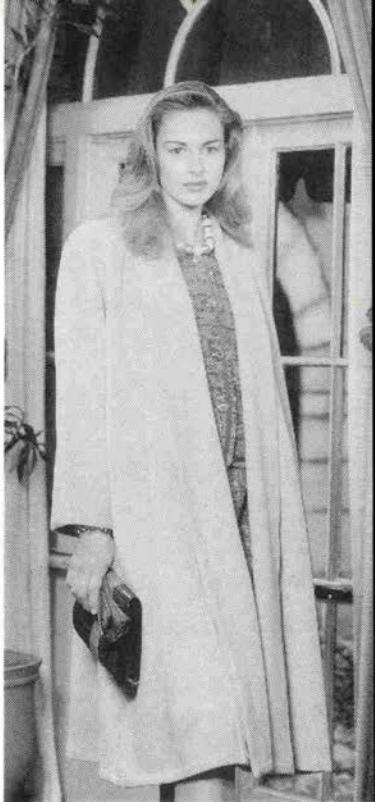
④・コルディアーマミー(神戸市中央区三宮町1さんちかタウン内)

・ルイシャンタン—レールフレ(三宮センター街)

・リニアーマミー

・ルイシャンタン—田中美佐子

★婦ワールド



▲ワールド

・リニアー特なし。

※尚2、3の質問につきましては、当社のレディースブランド「ルイシャンタン」について書かせていただきました。

ジ。

③素材はビーチタイプのウォーム感のあるタイプ。デザインは衿変化物や、エンボス加工を施した物など、全体的にはシンプルな物が良い。

#### ③・ロングベスト

- ワンピース
- ロングブルオーヴィア

※黒、グレー、ベージュ系など

#### ④・エルジエンヌーセリザワ、元町トラヤ

- レオワルツー神戸そごう
- トウト・ラ・テールー神戸そごう、神戸大丸

#### ⑤特になし。

### ★マドンナグループ

①ベストなど単品アイテムと組み合わせができる着こなし、タートルネックにビッグシャツといった少しカジュアルな着こなしなど、いろいろなコーディネートができるファッション。

②少しカジュアルラインな物と、エレガントタイプの2本柱。全体的にはエレガントな女性をイメー

### ★オールスタイル

①質感のある素材を生かした、ゆ

### ★㈱バール

①カジュアルを中心に、レーヨン混の新素材などを用い、ベストや



▲マドンナ ▼オールスタイル



つたりとした新しいシルエットのブルオーヴィアーやカーディガン、ジャケットなどの単品ニットアイテムがクローズアップされています。

### ②TOUCH OF QUALITY

オンタイムのカジュアル化が進むなか、単品ニットアイテムが再登場!



第5回神戸ファッションフェスティバル

# ジバンシイ GIVENCHY 衣裳文化展

●特集—3

1989年に

内外に情報を発信する感性の祭典としてスター

トした「神戸ファッションフェスティバル」も

今年で5回目を迎える。今年のコンセプトは、

創=Super Creative

n=1993。

►ジバンシイがデビューを飾った「春夏コレクション」のイラスト

テーマは「魅せる」。人々を魅了するヒロインとして脚光を浴びた大女優、オードリ・ヘップバーンの才能や努力を支え、彼女自身とともに観客をひきつけたものはまさに衣装(ファッショント)であった。

第3回のジャンニ・ヴェルサイチ衣裳文化展、第4回の衣裳文化展に引き続き、今回もGIVENCHY(ジバンシイ)衣裳文化展が開催される。

弱冠24歳にしてメゾンを構えた  
 ▲セーヌ川の岸辺を歩くジバンシイと  
 オードリ・ヘップバーン  
 (1989年頃の撮影)  
 ◆ユベール・ド・ジバンシイ氏

◆時  
 11月24日(水)11時~19時  
 ◇会場  
 神戸ファッションマート9F  
 KFMホール(イオ)  
 (六甲アイランド内)  
 ◇入場料  
 1200円(前売り1000円)  
 ◇主催  
 (財)神戸ファッション協会  
 兵庫県・神戸市・神戸商工会議所  
 ジャパンマーケットセンター㈱

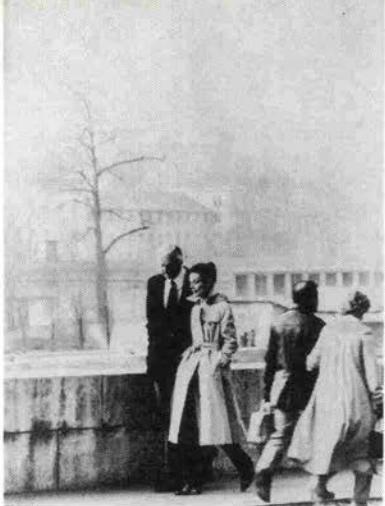
◆協力



今日はその輝かしい足跡を物語る作品の数々を一堂に集め、「魅せる」ということの原点を体感する貴重な機会としてファッショントとして一大拠点、神戸ファッションマートで広く一般に公開する。

このジバンシイは、66歳にして、続ける彼の原点は、あくまでも、『クラシック』時代に左右されることのない「真のモード」を追求するジバンシイは、いまなお、あくなきモードへの挑戦を続ける天才クチュリエとして多くの人々に愛されている。

今日はその輝かしい足跡を物語る作品の数々を一堂に集め、「魅せる」ということの原点を体感する貴重な機会としてファッショントとして一大拠点、神戸ファッションマートで広く一般に公開する。



# 神戸クリエイション'93

## ●特集——4

FASHION

◆会期 11月25日(木)～12月26日(日)

◆会場 神戸ファッションマート 1F

アトリウム(六甲アイランド内)

◆入場料

3,000円

◆主催 (財)神戸ファッション協会

兵庫県 神戸市 神戸工商会議所

◇後援 近畿通商産業局

◇協賛 ジャパンマーケットセンター㈱

GIVEENCY S.A.

GIVEENCY JAPON

C.O., LTD.

在住。

中村美幸 1961年8月、兵庫

県神戸市生まれ。1983年3月、

神戸ドレスメイカースクール(現、神戸

ファッション専門学校)卒業。

1983年3月、ジャヴァグループ

㈱ケティ入社。現在、同社ブラン

ド「ケティ」のチーフデザイナー

として活躍中。神戸市在中。

今年も「神戸クリエイション'93」が開かれる。未来を担う若手ファッショングレーディナーの発掘と育成を目的に第1回(1989年)から継続。今年の全体会テーマである「魅せる」に基づき、神戸のアパレル企業で活躍中のデザイナーたちが、それぞれの個性をいかした華やかな競演がくりひろげられる。

### ● 参加デザイナーのプロフィール

▲甲斐絹代さん  
△神戸ワールド▼

甲斐絹代 1956年10月、宮崎  
県延岡市生まれ。1977年3月、  
神戸ドレスメイカースクール(現、神  
戸ファッション専門学校)卒業。

1977年、㈱ワールド入社。現在、  
同社ブランド「ゴルディア」の  
チーフデザイナーとして活躍中。  
芦屋市在中。

志水邦男 1961年11月、兵庫  
県神戸市生まれ。1985年3月、  
文化服装学院卒業。同年4月から  
8年間、パリ(ピエール・カルダン・  
パリ)社、ハナエ・モリ・パリ社など  
で活動。1993年8月、イズム  
グループ㈱アルスのブランド「ラ・  
ヴォワ・デ・グローブ」のチーフデ  
ザイナーとして入社。神戸市在住。

谷郷直美 1967年5月、滋賀  
県大津市生まれ。1990年3月、  
大阪モード学園卒業。1990年  
4月、㈱ヴァレン入社。現在、同  
社ブランド「フォルブルーニング」の  
デザイナーとして活躍中。神戸市  
在住。

▲中村美幸さん  
△神戸ワールド▼

△谷郷直美さん  
△神戸ワールド▼

▲志水邦男さん  
△神戸ワールド▼

△志水邦男さん  
△神戸ワールド▼



# 情報処理能力認定試験 「文部大臣奨励賞」受賞

富永 礼さんに聞く

★ 全国で5人だけの受賞者

—— まず感想を聞かせて下さい。

富永 去年先輩が受賞していて、とても憧れていたんですが、まさか私が、というのが実感でした。

—— 何か特別な勉強法が?

富永 学校の授業とプリントが中心、それだけで十分でした。予習するのが楽しかったんです。授業がわかりだすと、もっともっと知りたいという気持ちになつて。

—— 入学の時には、コンピュータのことは全然知らなくて?

富永 ええ。最初1・2週間の授業は「?」の連続でした。3・4週間目に初めて課題をクリアできた

時、やっぱり授業をはじめて受けついでわかる、これで何とかなる、と正直ホッとした(笑)。

—— ところで、「神戸電子」に入学を決めた理由というと?

富永 私の高校は進学校で、みんなただ雰囲気に流されて大学に行くみたいで、それが嫌だったんですね。何か技術を身につけてたくて。

コンピュータを勉強するには西日本一の設備だと聞きましたし、

資格試験での合格率の高さも魅力でした。それにやはり神戸という街に引かれました。

—— これから目標は?

富永 卒業までに、オンライン情

報処理技術者試験に合格することです。実務知識も必要だし、かなり専門的で難しい試験ですが。

★ 就職も順調に内定を

富永 今年はとても厳しいと聞いていましたが、わりと順調に行きました。行く先々に先輩がいらっしゃる、高知にもこんなに卒業生がいました。学校の伝統とネーム

バリューを実感しました。

—— 高知に帰ると決めたのは?

富永 こちらで暮らすと、生活費で手いっぱいですよね。クルマが驚きました。学校の伝統とネーム

バリューを実感しました。

—— 将来はやはりキャリア・ウーマンとして活躍しよう。

富永 システムエンジニアには憧れます、やっぱり……お嫁さん

人がいい(笑)。



富永 礼さん（情報処理学科2年生）  
H.4年10月 第2種 情報処理技術者試験合格  
H.5年4月 第1種 情報処理技術者試験合格

卒業後は故郷高知での技術者生活が待っている。高知県立高知追手前高等学校出身。



情報工学科  
情報処理学科  
情報総合学科  
情報ビジネス学科



■学校法人 コンピュータ総合学園  
**神戸電子専門学校**  
神戸市中央区山本通1-6-35 ■650 □(078)242-0014